

第3次加須市行政経営プラン 進行管理調書（実施状況報告書）

資料5

「協働力」の向上

基本目標 1 シティプロモーションの推進

施策 (1) 広報活動の充実

取組項目群 ① わかりやすい広報

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)						(件)
1	情報提供の充実	3	3・やや遅れている	指標(単位)	市公式SNSへの動画投稿件数 【令和元年度：200】				(件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的に動画視聴が一般化しており、恒常化したPR動画について、今後の在り方について調査・研究していく。</li> <li>市民に最新情報を提供するため、引き続き、ホームページやSNSの積極的な活用に取り組む。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	210	220	230	240	250	
				実績	110	125				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや各種事業等が中止や延期となり、PR動画の作成に結びつかなかった。						
2	“役所ことば”の改善	3	3・やや遅れている	指標(単位)	窓口対応等実態調査における「身だしなみ・言葉遣い」についての満足度の割合 【令和元年度：81】				(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓口対応等実態調査結果をもとに、引き続き職員の接遇能力向上と窓口環境の改善を図る</li> <li>各種研修の機会を捉え、全職員への啓発に取り組む</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	80	-	80	-	80	
				実績	82.5					
				指標(単位)	窓口対応等実態調査における「説明の分かりやすさ」についての満足度の割合 【令和元年度：83】				(%)	
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	85	-	85	-	85	
				実績	84.1					
				指標(単位)	役所ことば改善の手引きの活用数 【令和元年度：1】				(回)	
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	2	2	2	2	2	
				実績	1	1				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・窓口対応等実態調査R4年度実施なし。 ・「役所ことば改善の手引き」を活用し、新採用職員研修で意識啓発を行った。改善の手引きの活用数について目標を下回ったことから、やや遅れているとした。						

「協働力」の向上

基本目標 1 シティプロモーションの推進

施策 (1) 広報活動の充実

取組項目群 ② 多様な広報媒体の活用

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	市公式SNS等のフォロワー数 【令和元年度：12,005】 (数)					
3	SNSの推進	1・ 目標を 達成	-	指標(単位)	市公式SNS等のフォロワー数 【令和元年度：12,005】 (数)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なるSNSの有効活用と、積極的な情報提供を行う。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	18,000	54,500	57,000	59,500	62,000	
				実績	60,470	66,218				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナワクチン接種の予約方法の一つにラインが含まれているため、ラインの登録者数が大幅に増加した結果、市公式SNS等のフォロワー数が目標値を大幅に上回ったため。										
4	メール配信の 充実	2・ 概ね 達成	-	指標(単位)	市人口に対する「かぞホットメール」の実登録者の割合 【令和元年度：14】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者の拡大に向け、継続して、市ホームページや広報紙に利用案内を掲載するとともに、転入者にチラシを配布する。</li> <li>・今後は、さらなる行政情報配信の充実に向け、ラインへの機能移転を図っていく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	18	20	22	23	25	
				実績	16.1	16.1				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・かぞホットメールの周知と利用案内について、市ホームページや広報紙に掲載するとともに、転入者にチラシ配布等を行った結果、実登録者数が増加し、概ね目標を達成することができた。 実登録者数 18,097人（4月1日現在人口 112,230人） （参考）令和3年度実登録者数は17,979人。										

「協働力」の向上

基本目標 1 シティプロモーションの推進

施策 (2) 市の魅力発信の充実

取組項目群 ① 市の魅力の発信強化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	市公式ホームページ「魅力発信かぞ」の更新回数 【令和元年度：2】						(回)
5	シティセールスの 推進	1・ 目標を 達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・シティプロモーション方針のターゲット（30代の子育て世代）に向け、効果的なPRを行う。	
				目標	3	3	3	3	3		
				実績	3	3					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
				・各課への定期的な更新依頼により、市公式ホームページの魅力発信サイト内「市の魅力（旧：魅力発信かぞ）」の更新回数が、目標を達成したため。							
6	パブリシティの推 進	1・ 目標を 達成	-	指標(単位)	パブリシティ年間情報提供の件数 【令和元年度：456】					(件)	・マスメディアによるPRは今後も有効であるため、引き続き、積極的な情報提供を行う。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	460	470	480	490	500		
				実績	461	524					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・パブリシティ年間情報提供の件数が、目標を上回ったため。											

「協働力」の向上

- 基本目標 1 シティプロモーションの推進  
 施策 (2) 市の魅力発信の充実  
 取組項目群 ① 市の魅力の発信強化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	広報紙やホームページ等に掲載した写真の件数 【令和元年度：240】						(件)
7	市民カメラマンとの連携	4・大幅に遅れている	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・市民カメラマン撮影の写真を市の魅力発信につなげられるよう、更なる活用機会を検討する。	
				目標	250	120	120	120	120		
				実績	49	52					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民カメラマンの各種行事等への取材協力を控えた。また、広報紙のリニューアルやSNS（インスタグラム）の運用変更により、市民カメラマンが撮影した写真を広報紙やホームページ等に掲載した写真の件数が大きく目標値に届かなかったため。											
8	フィルムコミッション事業の推進	4・大幅に遅れている	-	指標(単位)	フィルムコミッション情報提供の件数 【令和元年度：70】					(件)	・引き続き、市内ロケーションに関する情報提供を積極的に行い、誘致に努める。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	80	80	80	80	80		
				実績	47	30					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
・市内のロケーションを有効に活用していただくよう積極的な情報提供を実施したものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で問い合わせ件数が大幅に減少し、情報提供件数が目標値を下回ったため。											

「協働力」の向上

- 基本目標 2 広聴の推進  
 施策 (1) 対話の推進  
 取組項目群 ① 市民との対話の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	市政についての話し合いに参加した人数 【令和元年度：1,009】 (人)					
9	市政についての話し合いの開催			指標(単位)	市政についての話し合いに参加した人数 【令和元年度：1,009】 (人)					・市長と語るタウンミーティングへ再編済み
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	1,010	1,020	1,030	1,040	1,050	
				実績	0	対象外				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ※令和4年度から「出前市長室」及び「市政についての話し合い」を「市長と語るタウンミーティング」として再編										
10	出前市長室の推進			指標(単位)	出前市長室に参加した人数 【令和元年度：191】 (人)					・市長と語るタウンミーティングへ再編済み
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	200	200	200	200	200	
				実績	62	対象外				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ※令和4年度から「出前市長室」及び「市政についての話し合い」を「市長と語るタウンミーティング」として再編										
R 4 新	市長と語るタウンミーティングの実施	1 ・ 目 標 を 達 成		指標(単位)	市長と語るタウンミーティングに参加した人数 (人)					・今後も市民からの市政に対する意見及び要望等の効果的な聴取方法や反映方法を検討していく。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標		140	200	200	200	
				実績		325				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・広報紙やホームページ、各種団体への通知等の周知を実施したことにより、多くの団体からの依頼があり、ミーティング当日も多くの方にご参加いただけましたことから、目標を達成することができた。										

「協働力」の向上

- 基本目標 2 広聴の推進  
 施策 (2) 広聴活動の充実  
 取組項目群 ① 意見聴取の機会の充実

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ごとの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	市民の意識や満足度等の現状値を把握し政策形成に活用 した回数 【令和元年度：1】 (回)					
11	市民意識調査の実 施	1・ 目 標 を 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定や事業推進に当たっては、市民意識調査を通してタイムリーな情報を徴取することは、非常に有効であることから、今後も継続していく。</li> <li>・アンケート結果を分析し、的確に政策に反映させる。</li> </ul>
				目標	1	1	1	1	1	
				実績	4	2				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
12	市長への手紙・ メールへの適切な 対応	3・ や や 遅 れ て い る	-	指標(単位)	市長への手紙・メールの14日以内の回答率 【令和元年度：53】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、担当部長を中心とした対応により、迅速かつ適切で、より丁寧な回答をする。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	70	70	70	70	70	
				実績	80.25	55.28				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答内容の確認のため、担当部との調整に時間を要したことから、目標期間(2週間)内での回答について目標値を下回った。</li> </ul>										

「協働力」の向上

基本目標 2 広聴の推進

施策 (2) 広聴活動の充実

取組項目群 ② 審議会などへの市民の登用

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	審議会等委員のうち女性の割合 【令和元年度：30】 (%)					
13	審議会などへの若手や女性委員の登用	2 ・ 概ね達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・引き続き、若手及び女性の委員の登用を推進する。
				目標	30	32	34	36	40	
				実績	29.9	31.3				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・実績値が目標値の8割に達したため、本評価とした。 ・指標実績値：31.3%（審議会等委員のうち女性 516人/審議会等委員 1,651人）						

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等		
			指標(単位)								
14	空家の対策・活用	2・概ね達成	3・やや遅れている	指標(単位)	問題のある空家数 【令和元年度：191】 (戸)					・引き続き、管理不全な空家を解消するため、所有者等に対して適正管理の指導等を行うとともに、空家バンク等の活用により、空家の利活用を促進する。	
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	170	160	150	140	130		
				実績	187	175					
			1・目標を達成	指標(単位)	空家バンクの成約数(累計) 【令和元年度：0】 (戸)						
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	4	6	8	10	12		
				実績	6	6					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・問題のある空家については、年度により変動はあるが着実に取壊しも含め改善等が図られている。しかし、空家等になった経緯や要因など様々であり、解決等に時間を要する物件もあるため、目標値を達成することができなかった。 ・空家バンク及び空家バンク以外による市場流通も順調に推移している。								
			15	市民とともに子供たちの学力向上を推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	「加須まなびTime」に指導者としてご協力いただいている地域の方の割合 【令和元年度：73】 (%)			
年度	3年度	4年度					5年度	6年度	7年度(目標年)		
目標	75	75					78	78	80		
実績	83	100									
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内中学校の教育実習生やその友人に依頼することができたことで、より地域の方にご協力いただく形で参加生徒の学力向上、学習支援に寄与することができた。											

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)							(%)
16	地域における簡易 な道路維持管理	1・ 目標 を 達成	-	指標(単位)	簡易な道路維持管理を行う自治協力団体への支援率 【令和元年度：100】					(%)	・引き続き、PRや支 援を行っていく。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	100	100					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・自治協力団体が生活道路の砂利敷きを行う際に、原材料提供の依頼を受けたものについては全て対応することができた。											
17	水防協力員の適正 配置	1・ 目標 を 達成	1・ 目標 を 達成	指標(単位)	水防協力員の配置が適切に行われた率 【令和元年度：100】					(%)	・引き続き、より有効 的な水防協力員の適正 配置に努める。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	100	100					
			1・ 目標 を 達成	指標(単位)	水防協力員の人数 【令和元年度：34】					(人)	
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	34	34	34	34	34		
				実績	36	36					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】								
・水防協力員に必要な備品等を配布し、溢水等による二次的被害に備えることができた。											
・1名の水防協力員から活動辞退の申し出があり解職となったが、町内会長から新たに推薦された1名に水防協力員を委嘱し、適正に配置することができた。											

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	【令和元年度：430】 (人)					
18	消防団員の確保	2・概ね達成	-	指標(単位)	消防団員数 【令和元年度：430】 (人)					・消防団の現状を踏まえ、団組織及び処遇改善への対応案を検討する。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	445	445	445	445	445	
				実績	420	416				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・条約定数に対して29名の欠員が生じている。 ・前年より減員したが、次の取組を実施した。 ・5月3日の市民平和祭にて、学生消防団員による団員募集の啓発活動を実施 ・7月12日、14日に平成国際大学で機能別学生消防団員募集説明会を実施し、10名が入団 ・11月27日の渡良瀬遊水地まつりにて、学生消防団員による団員募集の啓発活動を実施 ・12月23日に自治協力団体連合会役員会において、消防団員の候補者の推薦について依頼 ・欠員している地区の自治協力団体代表者へ消防団員の候補者の推薦について文書による依頼 ・市職員向けにGWによる消防団員募集について周知を実施										
19	地域による防災体制の構築	3・やや遅れている	4・大幅に遅れている	指標(単位)	自主防災組織に対する自主防災訓練の実施数の割合 【令和元年度：22】 (%)					・防災士養成講座を開催し地域防災力の充実・強化を図る。 ・出前講座や説明会及び研修会を積極的に開催し、組織率、訓練実施率の向上を図る。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	24	26	29	31	33	
				実績	5.1	9.5				
			2・概ね達成	指標(単位)	自主防災組織の組織率 【令和元年度：86】 (%)					
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主防災訓練の多くが中止や延期となり、結果に結びつかなかった。										

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	防災研修会及び出前講座参加者数 【令和元年度：3,224】 (人)					
20	地域における防災リーダー育成の推進	1・目標を達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力の充実・強化を図るため、防災士養成講座を実施する。</li> </ul>
				目標	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	
				実績	1,215	1,896				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
21	水害広域避難訓練の実施	4・大幅に遅れている	-	指標(単位)	総合水害広域避難訓練の参加者数 【令和元年度：なし】 (人)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型台風接近上陸を想定し、広域避難対象地域、地区の住民の方の広域避難及び水害時避難場所の開設運営等を総合的に訓練する。</li> <li>・加須警察署による交通誘導訓練も実施する。</li> <li>・ホットライン関係団体と顔の見える関係を築くため、情報連携訓練を行う。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	2,000	2,050	2,100	2,150	2,200	
				実績	0	896				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大のため、市民の参加者数を制限し、訓練を実施したため、目標値には届かなかった。</li> </ul>										

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
			指標(単位)	自主防犯組織の組織率 【令和元年度：77】 (%)					
22	地域による防犯体制の構築	2・概ね達成	指標(単位)	自主防犯組織の組織率 【令和元年度：77】 (%)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における防犯活動の活性化を図るため、加須警察署と連携し、講習会を実施する。</li> <li>・自主防犯団体の組織及び活動状況を把握するため、定期的の実態調査を行う。</li> <li>・自主防犯組織未設立の自治協力団体へ、引き続き、危機管理防災課と連携し設立依頼を行う。</li> </ul>	
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度		7年度(目標年)
			目標	82	87	91	96		100
			実績	81	81				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】			<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は新たな自主防犯組織が設立はなかったが、自主防犯組織率は概ね目標を達成した。</li> </ul>						
23	生活道路整備に関わる積極的な用地提供	1・目標を達成	指標(単位)	市民からの積極的な用地提供により整備に着手した路線数 【令和元年度：7】 (箇所)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、整備を進める。</li> </ul>	
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度		7年度(目標年)
			目標	5	5	5	5		5
			実績	9	6				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治協力団体等からの生活道路の整備要望に基づき、用地が必要とされる事業においては、地権者の積極的な用地協力をいただき整備を進める。</li> <li>・新6路線について事業を実施し目標を達成した。(完成1路線)引き続き地域と連携しながら道路拡幅の整備を行っていく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道6194号線・市道5393号線</li> <li>・市道5382号線(完成)・市道騎3486号</li> <li>・市道大1050号線・市道大3067号線</li> </ul>						

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
			指標(単位)	災害時要援護者全登録者数に対する避難援助者の登録割合 【令和元年度：41】 (%)					
24	地域の支え合いの推進	1・目標を達成	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿未登録者への働きかけは行っているが、登録の必要性を感じないなどの理由で登録意向がない人が固定化しつつあると考えられる。</li> <li>・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯のうち、災害時の避難に支援が必要な者の避難支援者の登録促進、地域による支援体制の構築の検討を促進する。</li> </ul>
			目標	41	42	43	44	45	
			実績	46	46				
			指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き民生委員・児童委員による高齢者世帯訪問時や、新型コロナワクチン接種時における要介護認定者や障害者手帳所持者への災害時要援護者制度の周知を行った。登録者の死亡数や施設入所数が新規登録者数を上回ったものと考えられ、登録者数が減少した。</li> <li>・令和4年度末 災害時要援護者名簿登録者数 7,057名 (▲97名)</li> <li>・上記のうち避難支援者の登録がある者 3,304名 (▲1名)</li> <li>… ○ 内は、前年度末との比較</li> </ul>					
25	地域福祉活動の推進	2・概ね達成	指標(単位)	民生委員・児童委員の年間活動延べ日数 【令和元年度：31,123】 (日)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員の日頃の活動が円滑に行えるよう、関係各課からの情報やお知らせを、会議等において積極的に周知し、市と委員の情報共有に努める。</li> <li>・民生委員・児童委員の活動が年々増加（難題化）している中で、地域のなかで支えが必要な方々に寄り添う活動を支援する。</li> <li>・職務に関して必要な知識及び技術を習得するため、研修等への参加を促す。</li> <li>・欠員がある地区に対して、候補者の推薦を継続して依頼する。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	
			実績	27,152	28,384				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員数(令和5年3月31日時点) 239人</li> <li>・民生委員・児童委員1人あたりの年間活動延べ日数：約118日</li> <li>※28,384日÷239人≒118日</li> </ul>								
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮しながら活動しているため、目標とした数値には届かなかったが、市や社会福祉協議会と連携し、ひとり暮らし高齢者世帯等への訪問を適切に行うことができた。見守り世帯を訪問する場合は、前後に電話をかけ玄関先にメッセージを置く、顔を合わせる時にはマスクの着用や一定の距離置くなど、お互いの感染予防に配慮した行動を工夫しながら見守りや声かけを行った。</li> <li>また、一斉改選のため定数を見直した(236人から247人へ11名の増員)。</li> </ul>									

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
26	高齢者を支え合う地域づくり	1・目標を達成	-	指標(単位)	介護予防や生活支援の取組を実施しているプロンズ会議(第2層)の数 【令和元年度：2】 (箇所)						<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーター及び高齢者相談センターとの連携を一層推進する。</li> <li>既存のプロンズ会議の運営状況を確認し、意見交換及び情報提供を行う。</li> <li>住民が主体的に「やりたい」と思うような情報を整理し、啓発を行う。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	5	8	16	16	16		
				実績	10	16					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての社会福祉協議会支部エリアで第2層プロンズ会議の設置が完了し、各地域で住民と協議しながら様々な課題に向けた取組を推進したことにより、目標値の100%以上に達したため。</li> </ul>							
27	健康づくりの推進	2・概ね達成	1・目標を達成	指標(単位)	市町村がん検診事業の評価結果 県内市町村ランキング (%)						<ul style="list-style-type: none"> <li>申込初日はすべて休日のコールセンターとする。</li> <li>電話予約の混雑を避けるためWEB予約方法を周知する。</li> <li>未受診者への再勧奨通知を行う。</li> <li>保健事業のさまざまな機会や、広報紙・SNS等積極的かつ戦略的に周知に取り組む。</li> <li>人工知能を活用したデータ分析等により、受診率向上対策を継続して実施する。</li> <li>かかりつけ医からのちらしを活用した受診勧奨を実施する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	10	10	10	10	10		
				実績	22	8					
			3・やや遅れている	指標(単位)	国保健診(特定健診)受診率 【令和元年度：41】 (%)						
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	50	55	60	60	60		
				実績	32.8	34.9					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				<ul style="list-style-type: none"> <li>5がん検診受診率のポイントの伸び(前年度比)等により、埼玉県国民健康保険給付費等交付金評価基準の合計点により順位があがったため、目標値を上回る実績値となった。</li> <li>国保健診(特定健診)について、昨年度より受診率は向上したが、目標値には及ばなかった。なお、令和4年度の受診率が確定するのは令和5年11月となる。※国の掲げるがん検診の目標受診率50%は、社保・国保加入の合算の受診率である。</li> </ul>							

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等			
			指標(単位)									
28	ごみの資源化・減量化の推進	3 ・やや遅れている	2 ・概ね達成	指標(単位)	ごみの資源化率 【令和2年度：38】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル率が上昇している自治体の取り組みを調査し、導入を検討する。</li> <li>SNSやホームページ、広報紙、アプリ等を活用し、ごみの減量化・資源化の積極的な周知を行う。</li> <li>飲食店や食品小売店での食品ロスを削減する「食べきりかぞ」協力店の充実を図る。</li> <li>プラスチックごみの排出抑制を図るため、マイバッグ、マイボトルの利用促進などの啓発を行う。</li> </ul>		
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)				
			目標	40	40	40	40	40				
			実績	37	37.7							
			3 ・やや遅れている	指標(単位)	一人一日当たりのごみの排出量 【令和2年度：1,010】 (g)							
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)				
			目標	829	822	815	808	800				
			実績	984	981							
			3 ・やや遅れている	指標(単位)	プラスチック類・ゴム製品ごみ排出量 【令和2年度：2,631】 (t)							
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)				
			目標	2,430	2,420	2,410	2,400	2,400				
			実績	2,546	2,467							
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・指標は目標に達していないものの、ごみの資源化率は、引き続き県内第1位(全国順位は第5位)の高い水準を維持することができた。									

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等							
29	周辺環境の美化活動	3 ・やや遅れている	2 ・概ね達成	指標(単位)	環境美化活動サポート団体登録数 【令和元年度：37】 (団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き広報紙やHPを活用し、制度の周知、環境意識の啓発を行い、登録団体及び参加者数の増加を図る。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら一斉清掃を実施していく。</li> </ul>						
				年度	3年度		4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	42		42	42	42	42		
				実績	39		38					
				指標(単位)	一斉清掃への参加者数 【令和元年度：21,571】 (人)		<p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録団体の活動支援を行うとともに、広報紙やHPにおいて制度の周知を図ったことにより、登録団体数は目標値の9割となっている。</li> <li>なお、各団体において継続的な美化活動が行われたことにより、環境美化の向上が図られ、快適な環境づくりが推進されている。</li> <li>各地域一斉清掃の実施は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、全12回計画のうち2回中止となった。</li> </ul>					
				年度	3年度			4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	35,400			35,400	35,500	35,500	35,600	
				実績	5,086			11,361				
				30	合併処理浄化槽の普及促進			3 ・やや遅れている	-	指標(単位)	浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽普及率 【令和元年度：49】 (%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、広報紙やHPを活用し、補助金制度の周知に努め、合併浄化槽への転換啓発に努めていく。</li> </ul>
										年度	3年度	
目標	60	66	72			78				84.5		
実績	52	51.5										
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】												
<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙やHP、戸別訪問等により、合併処理浄化槽への転換啓発や補助金制度の周知及び適正な維持管理の啓発を行ったが、普及率は目標値に届かなかった。</li> </ul>												

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等						
31	支え合いによる子育ての推進	3 ・やや遅れている	3 ・やや遅れている	指標(単位)	ファミリーサポート事業年間利用件数 【令和元年度：4,962】 (件)	(ファミリーサポートセンター事業) ・会員の高齢化に伴い、協力できる会員数が減少していくため、新規会員の募集に努める。 (子育てサロン) ・サロン運営を支えるボランティア間の情報共有を図る ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて事業の実施と周知を図る。					
				年度	3年度		4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	5,500		5,500	5,500	5,500	5,500	
				実績	4,358		4,106				
			3 ・やや遅れている	指標(単位)	子育てサロン利用者数 【令和元年度：31,740】 (人)		【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 (ファミリーサポートセンター事業) ・実績は前年度より減少したが、放課後児童クラブへの送迎などは例年と同じ程度の利用があったため、この事業の需要は高い。 (子育てサロン) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、すべて実施することはできなかったが、感染防止対策を講じた中での実施に対し、前年度を上回る利用があったため、今後も利用増大が見込まれる。				
				年度	3年度			4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)
				目標	39,500			39,500	39,500	39,500	39,500
				実績	17,042			22,295			
			32	ちょこっとおたすけ絆サポート事業の推進	2 ・概ね達成			3 ・やや遅れている	指標(単位)	サービスの年間活動時間 【令和元年度：3,772】 (件)	・引き続き、加須市商工会や関係各課と連携しながら絆サポート事業の周知を図る。
									年度	3年度	
目標	4,000	4,000				4,000			4,000	4,000	
実績	2,556	2,843									
1 ・目標を達成	指標(単位)	サポーター登録 【令和元年度：86】 (人)				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須市商工会や関係各課と連携し、事業のPRを行ったことにより、サポーター登録数は目標を達成することができたが、サービスの年間活動時間は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、目標値を達成することができなかったため、左記の評価とした。					
	年度	3年度						4年度	5年度	6年度	
	目標	90					95	100	105	110	
	実績	91					111				

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)							(人)
33	学校いきいきステーション事業の実施	3	やや遅れている	指標(単位)	公立幼稚園、小・中学校応援団ボランティア登録数 【令和2年度：4,167】					(人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々ボランティアの登録数が減少傾向にあるが、学校（園）では工夫しながら教育活動が充実するように、ボランティアを活用している。今後もボランティアを活用した教育活動の充実と新規ボランティアの募集を継続していく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300		
				実績	3,888	3,410					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・ボランティアの高齢化、各校における登録者の再確認等により、登録数は年々減少傾向にあるため。											
34	経験などを生かした地域貢献	3	やや遅れている	指標(単位)	市民講師登録者数 【令和元年度：238】					(人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンターや各文化・学習センター等に市民講師活用の働きかけを行う。</li> <li>・市民講師の活用を進めるために、ホームページの充実や広報の発信を継続していく。</li> <li>・シニア世代が有する豊かな知識や経験を、市民講師となって地域の皆さんに伝えていただくことで、シニア世代の地域デビューを支援する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	260	270	280	290	300		
				実績	236	212					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・令和4年度にて、6人の市民講師の増加があったが、市民講師登録者の一部に登録意向確認をしたところ、30人が登録リストの抹消を希望したため減少となった。（理由としては、本人の高齢化・コロナ禍により指導を辞めたなど）											
35	まちづくり市民会議の推進	3	やや遅れている	指標(単位)	まちづくり市民会議等への参加者数 【令和元年度：0】					(人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かそのイイトコ見つけ隊」の活動を積極的に支援し、活動をサポートする。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	240	42	96	108	120		
				実績	0	28					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・令和4年11月から「かそのイイトコ見つけ隊」として活動を開始したが、参加者数は目標に満たなかったため。											

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
			指標(単位)						
36	ボランティア養成講座の開催	2・概ね達成	指標(単位)	ボランティア講座の受講率 【令和元年度：80】 (%)				<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なボランティア養成講座の拡充のため、関係課や社会福祉協議会との連携を図る。</li> </ul>	
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度		7年度(目標年)
			目標	80	80	80	80		80
			実績	76	75				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症患者数増加の現状に対応するため、市民学習カレッジセミナーにおいて、いきいき健康長寿課と共催で「介護予防サポーター養成講座」を開催した。</li> </ul>									
37	市民活動への参加促進	2・概ね達成	指標(単位)	市民活動ステーションの年間利用者数 【令和元年度：4,888】 (人)				<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動ステーションスタッフと連携し、施設利用者の増加及び団体の新規登録を促進する。</li> </ul>	
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度		7年度(目標年)
			目標	5,050	5,100	5,150	5,200		5,250
			実績	3,234	5,042				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動ステーションは、市民活動フェアの実施するなど活動する団体が昨年より増加し、利用者数が概ね目標値に達成したため。</li> </ul>									
38	地域活動への参加	3・やや遅れている	指標(単位)	まちづくり市民会議等に参加した職員数 【令和元年度：0】 (人)				<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も研修会を実施するとともに、「かぞのイトコ見つけ隊」とのコラボレーションなど地域活動の積極的な参加を促進する。</li> </ul>	
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度		7年度(目標年)
			目標	60	62	65	67		70
			実績	0	40				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の地域活動への積極的な参加を促すため、令和4年10月に協働によるまちづくり推進員を対象とした研修会を開催するなどしたが、参加者数は目標に満たなかったため。</li> </ul>									

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進  
 取組項目群 ③ パートナーシップの構築

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	自治協力団体要望、連絡協議会及び役員会などの開催回数 【令和元年度：25】 (回)					
39	自治協力団体との連携	1・目標を達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協力団体への加入率低下を防ぐため、各自治協力団体との連携を図りながら、新たな加入促進の取組を検討する。</li> </ul>
				目標	25	25	25	25	25	
				実績	25	26				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
40	大学、高校、企業等との連携	3・やや遅れている	-	指標(単位)	大学、高校、企業等との連携事業数 【令和元年度：31】 (事業)					<ul style="list-style-type: none"> <li>高校や大学等との連携事業を順次拡大する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	31	31	31	31	35	
				実績	21	24				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>高校・大学との連携事業について、幅広い分野にわたって計画をしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事業を実施できないものがあったため。</li> </ul>										

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (2) 行政情報の公開

取組項目群 ① 市長の仕事の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	公表回数 【令和元年度：12】						(回)
41	市長交際費の 公開	1 ・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位)	公表回数 【令和元年度：12】					(回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市長交際費の支出内容を市ホームページで公開していく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	12	12	12	12	12		
				実績	12	12					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月10日までに前月分の市長交際費の支出内容を市ホームページで公開</li> <li>市長交際費の支出内容を市ホームページで毎月の期日までに公開できた。</li> </ul>											
42	市長の行動日誌の 公開	1 ・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位)	公表回数 【令和元年度：12】					(回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市長の行動日誌を市ホームページで公開していく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	12	12	12	12	12		
				実績	12	19					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1日から15日分は20日までに、16日から月末分は10日までに市長の行動日誌をホームページで公開</li> <li>市長の行動日誌を市ホームページで毎月の期日までに公開できた。</li> </ul>											

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (2) 行政情報の公開

取組項目群 ② 市政の進捗状況の公表

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
			指標(単位)	公表回数 【令和元年度：2】 (回)					
43	総合振興計画の進捗状況の公表	1・目標を達成	指標(単位)	公表回数 【令和元年度：2】 (回)					<ul style="list-style-type: none"> <li>総合振興計画に位置付けた取組が市民の取組・活動につながるよう、引き続き公表に努める。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	2	2	2	2	2	
			実績	2	2				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内の公共的団体等の代表で構成される「総合振興計画推進懇話会」において、総合振興計画前期基本計画の実施状況について進捗状況を報告（R4は書面開催）した上で、「広報かぞ」、「ホームページ」へ掲載をすることができたため「目標を達成」とした。									
44	市長公約の進捗状況の公表	2・概ね達成	指標(単位)	公表実施の有無 (一)					<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて適宜適切に公表する。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	1	実施	実施	実施	実施	
			実績	1	実施				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市長が適宜お知らせした。									

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (2) 行政情報の公開  
 取組項目群 ③ 財政事情の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	予算・決算に係るホームページの年間閲覧件数 【令和元年度：7,144】					
45	予算、決算などの わかりやすい公表	1 ・ 目 標 を 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・引き続き市の予算、 決算をはじめ市の財政 状況等について、広報 紙への掲載、ホーム ページ上で公開する。
				目標	7,150	7,175	7,200	7,225	7,250	
				実績	11,189	8,543				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・補正予算や財務諸表の情報などは、適宜広報紙への掲載およびホームページ上 で公開することができた。令和2年度から、補正予算案について議会に提出した 時点でホームページ上に掲載している。 ・令和2・3年度と比較し令和4年度は、コロナ対策関連補正予算に関する新規 の取組が少なかったことなどから閲覧件数についても減少したと思われるが、適 時公表を実施することで目標件数を上回ることができた。 【主な公表の媒体等】 ・R4年度当初予算 広報かぞ4月号、ホームページ ・R4年度補正予算（6月、9月、12月、2月） 広報かぞ8月号、11月号、1月号、4月号、ホームページ ・R4年度上半期財政事情 広報かぞ6月号 ・R3年度の財政事情 広報かぞ12月号 ・R3年度決算 広報かぞ11月号、ホームページ 新型コロナウイルス感染症に係る対応についてまとめた行政報告書別冊を作成 ・R3年度財務諸表 広報かぞ4月号、ホームページ						

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (2) 行政情報の公開  
 取組項目群 ④ 会議の公開の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	開催案内の事前公開実施率 【令和元年度：98】 (%)					
46	審議会などの公開 の推進	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	開催案内の事前公開実施率 【令和元年度：98】 (%)					・引き続き、開催案内 の事前公開が徹底され るよう働きかけ、実施 率の維持向上を図る。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	98	98	100	100	100	
				実績	98.2	97.5				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・実績値が目標値に僅かに届かなかったため、本評価とした。 ・実施率：97.5%（会議開催日の7日前までに開催案内を公開した件数277件/ 書面審議を除いた会議開催件数282件）						
47	議事録などの公表 の推進	1・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位)	会議終了後20日以内に議事録を公表した実施率 【令和元年度：61】 (%)					・引き続き、会議録の 公表が速やかに行われ るよう働きかけ、実施 率の維持向上を図る。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	95	95	95	95	95	
				実績	98.7	97.2				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・実績値が目標値を上回ったため、本評価とした。 ・実施率：97.2%（会議終了後20日以内に会議録を公表した件数307件/ 会議開催件数316件）						

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ① 協働推進プロジェクトの推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	絆マークを見たことがある市民の割合 【令和元年度：96】 (%)					
48	家族・地域の絆推 進運動の展開	4 ・ 大 幅 に 遅 れ て い る	-	指標(単位)	絆マークを見たことがある市民の割合 【令和元年度：96】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに事業の効果等を総合的に検証し、今後のあり方や事業展開の手法を検討する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	91	0				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの事業の検証と今後のあり方を見直すとともに、新たな事業展開の手法等を検討するため、令和4年度においては当該事業の具体的な事業展開を行わなかったため。</li> </ul>										
49	あいさつ運動の推 進	4 ・ 大 幅 に 遅 れ て い る	-	指標(単位)	地域の方にあいさつできる児童生徒の割合 【令和元年度：83】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、駅での街頭キャンペーンは控えていたが、令和5年度はコロナ禍前の取組を実施し、効果について検証する。また、各学校においても、引き続き工夫してあいさつ運動を展開してもらおう。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	90	90	90	90	90	
				実績	76	-				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本指標の根拠となる「絆アンケート」が、これまでの事業の検証と今後の在り方を見直すとともに、新たな事業展開の手法等を検討するために、令和4年度は実施されなかったため。</li> </ul>										

「協働力」の向上

基本目標

3 市民と行政との協働

施策

(3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群

② 地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の 評 価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等					
50	加須市民の日の充 実	2・ 概 ね 達 成	3・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	「市民の取組」協賛事業への参加団体数 【令和元年度：17】 (回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の日記念のイベント及び協賛事業等について広く広報することで、認知度を上げていく。</li> <li>市民の日記念イベント及び協賛事業においては、関係課と協力して更に充実するよう努める。また、市民団体等が行う協賛事業が拡充できるよう関係団体に協力を求めている。</li> </ul>				
				年度	3年度		4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
				目標	30		30	30	30	30
				実績	22		23			
			1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	市民の日記念事業への参加者数 【令和元年度：4,644】 (人)					
				年度	3年度		4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
				目標	25,000		25,000	25,000	25,000	25,000
				実績	19,915		33,442			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】				<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の日記念式典の実施し、「1年を振り返る」動画の上映や市政に功労のあった方へ感謝状を贈呈した。また、公共施設等無料化、協賛事業の実施や「私の323」を募集したことにより、記念事業への参加者数が増加した。</li> </ul>			
			51	市の花・市の木の 普及	2・ 概 ね 達 成		2・ 概 ね 達 成	指標(単位)	市の花コスモスの栽培面積 【令和元年度：14,118】 (㎡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の花コスモスについては、小袋に入れた種を、本庁舎総合案内や各総合支所地域振興課窓口等に配置し配布する。また、各自治協力団体で栽培してもらえるように働きかける。希望する自治協力団体へ種を配布し、市内各所に、より多くのコスモスが咲くよう努めていく。より多くの小・中学校等に栽培していただけるよう、積極的に働きかける。農業振興課等と連携を図り、栽培面積の拡大を推進する。</li> <li>市の木サクラの植樹を促進するため、公園サポーター事業と連携し、市民との協働による公園の緑化対策及び維持管理の促進を図っていく。</li> </ul>
年度	3年度	4年度				5年度		6年度	7年度 (目標年)	
目標	12,500	12,500				12,500		12,500	12,500	
実績	10,675	10,161								
1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	市の木サクラの植栽本数 【令和元年度：25】 (本)								
	年度	3年度				4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	2				2	2	2	2	
	実績	0				2				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						<ul style="list-style-type: none"> <li>市の花コスモスの栽培面積については、実績が目標の8割を超え、市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただくことができた。また、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図ることができた。</li> <li>市の公共施設にボランティア団体と協働により、サクラの植樹を行うことにより、公園愛護の市民意識が高揚し、公園利用の促進を図ることができた。</li> </ul>				

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ② 地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
			指標(単位)	うどんとこいのほりを活用した取組数 【令和元年度：68】 (件)					
52	「うどん」と「こいのほり」によるまちおこし	1・目標を達成	指標(単位)	うどんとこいのほりを活用した取組数 【令和元年度：68】 (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、加須市の特産品である「うどん」と「こいのほり」の魅力を全国に発信し、観光による交流人口の増加を図りながら、地域の賑わいと地域経済の活性化を図る。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	70	75	80	85	90	
			実績	60	77				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴い、関連するイベント・取り組みが再開されるようになったこと、また鯉のぼり展示会や加須駅改修におけるアイデア提案といった新たな取り組みも実施したため</li> </ul>									
53	商店街や地域商店の賑わいつくりの支援	4・大幅に遅れている	指標(単位)	商店街にぎわい創出イベント集客数 【令和元年度：35,350】 (人)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、加須市商工会や商店街等が実施する賑わい創出イベントを支援し、地域商業の活性化を図る。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	36,000	36,500	37,000	37,500	38,000	
			実績	1,850	9,888				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>加須市商工会や中心市街地スタッフ会議、商店街等が賑わい創出イベントを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響による中止により目標値を達成することができなかったため、左記の評価とした。</li> </ul>									

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ② 地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
			指標(単位)	市民まつり参加申込団体数 【令和元年度：276】 (団体)					
54	市民まつりなどの支援	3・やや遅れている	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以前の規模での開催を目指し、多くの市民参加による、市民の手づくりイベントとして市民まつりを開催し、コミュニティの醸成を図り、ふるさとづくりを推進する。</li> </ul>
			目標	290	290	290	290	290	
			実績	0	215				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
55	郷土かるた大会の充実	4・大幅に遅れている	指標(単位)	加須市郷土かるた大会の参加人数 【令和元年度：543】 (人)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催方法の見直しを図る。</li> <li>・本来の目的を再確認し、加須市郷土かるたの有効活用方法を各小学校と連携を図る。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
			目標	520	520	520	520	520	
			実績	0	0				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催へ向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から、会場内での感染防止対策が厳しいと判断し、中止としたため。</li> </ul>									

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ③ 家庭・地域活動への参加促進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
			指標(単位)	自治協力団体加入率 【令和元年度：80】 (%)					
56	自治協力団体加入促進・組織活性化の支援	2・概ね達成	指標(単位)	自治協力団体加入率 【令和元年度：80】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、加入促進活動を実施するほか、新たな加入促進の取組を検討する。</li> <li>加入率の低い地域の加入促進を図る</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	80.2	80.3	80.4	80.5	80.6	
			実績	78.3	77.5				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>転入者への加入促進ちらしの配付や、イベント等の機会を捉えての加入促進活動を実施した結果、加入率は前年度から低下したものの目標値の近似値となる実績値を得ることができたため。</li> </ul>									
57	生涯学習機会の提供	1・目標を達成	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 【令和元年度：69】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民企画委員「アシストかぞ」との協働によりバラエティ豊かなセミナーを実施（企画・運営）するだけでなく、市民のニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行うことで、更なる講座の質の向上を図っていく。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	80	80	80	80	80	
			実績	83	81				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の機会の提供を促進するため、市民ボランティア（市民企画委員「アシストかぞ」）と協働で、生涯学習課主催又は共催として67セミナーを実施した。</li> </ul>									

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ④ 各種団体などの主体的運営と参画

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
			指標(単位)	地域市民活動団体数 【令和元年度：79】 (団体)					
58	ボランティアの育成、NPO・ボランティア活動の拡大	2・概ね達成	指標(単位)	地域市民活動団体数 【令和元年度：79】 (団体)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市民活動支援補助金の申請受付及びNPO設立認証事務等を実施する。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	78	80	82	84	86	
			実績	82	79				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】			<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の交付や市民活動ステーションによる支援を実施したことにより、地域市民活動団体数が概ね目標値に達成したため。</li> </ul>						
59	事務執行体制の自立	3・やや遅れている	指標(単位)	市職員が会計事務に携わっている団体数 【令和元年度：86】 (団体)					<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員が会計事務に関与せざるを得ない団体については、事業内容等を検討し、これを整理統合して団体の自立を図るように助言や指導をする。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	85	80	75	70	65	
			実績	89	91				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】			<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の自主運営を促進するとともに、職員が団体の会計事務等に関与せざるを得ない場合には、所管課による団体会計事務の徹底や所管課以外の課による関係書類の確認及び実地査察を行い、事故の未然防止に努めた。</li> <li>会計に市職員が関与している団体数が団体総数の8.7%にとどまってはいるものの、目標値には届かなかったため「やや遅れている」とした。(91団体/総数1,044団体=8.7%)</li> </ul>						

「協働力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (4) 自治体間交流の推進  
 取組項目群 ① 地域社会の発展と振興

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	【令和元年度：10】 (回)					
60	姉妹都市等との住民交流の促進	4 大幅に遅れている	4 大幅に遅れている	指標(単位)	姉妹都市・友好都市との交流活動実施回数 【令和元年度：10】 (回)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が実施する交流活動を促進するため、姉妹都市・友好都市交流事業補助金について、市のホームページや広報紙等で周知する。</li> <li>・姉妹都市、友好都市との交流を深めるとともに、新たな自治体との提携について検討を進める。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	15	15	15	15	15	
				実績	5	7				
				指標(単位)	姉妹都市・友好都市提携自治体数 【令和元年度：2】 (市町村)					
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	3	3	3	3	3	
				実績	2	2				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市、友好都市との交流活動については、人権男女共同参画課及び総務課がさくら市を訪問するツアーを開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、交流活動が増えず、目標値を達成することができなかった。</li> <li>・さくら市と平成25年1月に姉妹都市、双葉町と平成28年11月に友好都市を提携しており、新たな自治体間交流の実施に向けて検討したが、姉妹都市や友好都市の提携には至らなかった。</li> </ul>						

「市役所力」の向上

- 基本目標 3 市民と行政との協働  
 施策 (5) 国際交流の推進  
 取組項目群 ① 多文化共生社会の構築

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	【令和元年度：59】 (件)					
61	外国人住民等への支援の充実	2 概ね達成	-	指標(単位)	多言語による情報提供資料数 【令和元年度：59】 (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人住民が地域社会の一員として共に暮らしていくために必要な多言語による情報提供を関係課と協力して取り組む。</li> <li>・ワンナイトステイ事業【県事業】について県と連携して更なる推進を目指す。</li> <li>・外国人住民支援団体等へのサポート体制の充実。</li> <li>・多言語情報配信ツール(チラシ等10言語翻訳閲覧)の活用。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	59	60	61	62	63	
				実績	56	53				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンナイトステイ事業の実施 3件(うち1件はオンライン交流)</li> <li>・日本語教室活動場所の支援等</li> <li>・多言語情報配信ツールの導入により、広報かそやごみの分け方出し方等、市の様々な情報を10言語で閲覧できるようになった。多言語による情報提供資料数は減少したが、関係課の協力もあり、「概ね達成」することができた。</li> </ul>						

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (1) 行政手続オンライン化の推進

取組項目群 ① 行政手続などの簡便化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	【令和元年度：なし】 (%)					
62	押印、書面規制の見直し	2・概ね達成	-	指標(単位)	押印の見直しを行った行政手続の割合 【令和元年度：なし】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、引き続き行政手続等における押印見直しを進める。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	90	100	100	100	100	
				実績	81	82				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度に引き続き行政手続における押印の必要性について検証した結果、押印の見直しを行った行政手続の割合が82%（対前年1ポイント上昇）となったことから本評価とした。</li> </ul>										
63	オンライン化の推進	2・概ね達成	-	指標(単位)	行政手続等に占めるオンライン利用の割合 【令和元年度：47】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌やホームページ、SNS等多様な媒体を利用して電子申請・届出サービスの更なる利用促進を図る。</li> <li>他市町村のオンライン化の実態を適宜調査し、オンライン手続に移行できるものを検討する。</li> <li>市民の利便性向上や業務効率の効果が高いと考えられる多様な手続を優先してオンライン化する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	50	51	52	54	57	
				実績	59.8	47.1				
				備考	目標値の対象手続 ①図書館の図書貸出予約等 ②公共施設予約 ③粗大ごみ収集の申込 ④水道使用開始届等 ⑤地方税申告手続(eLTAX) ⑥入札 ⑦入札参加資格審査申請等 ⑧研修・講習・各種イベント等の申込 ⑨犬の登録申請・死亡届等 ⑩衆議院・参議院等の不在者投票用紙の請求					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>R5年2月及び3月を電子申請推進月間と定め、広報紙等において電子申請・届出サービスの利用を促進した。</li> <li>今年度より上記備考②「公共施設予約」が対象手続に追加され、申請数の総件数（割合に係る分母）が昨年度に比べ8万件増加（うち2万3700件がオンライン申請数）した結果、オンライン利用割合が減少した。令和4年度は初年度ということもあり、今後はオンライン利用が浸透していくことで申請数が伸びるものと考ええる。</li> </ul>										
64	公共施設インターネット予約の推進	3・やや遅れている	-	指標(単位)	インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合 【令和元年度：なし】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>加須市公共施設予約管理システム導入についての広報及び操作方法等の周知</li> <li>システム利用率向上に向けた周知及び広報</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	導入	50%	55%	60%	65%	
				実績	導入	33%				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年4月1日より公共施設予約管理システムの運用が開始されたが、設定した目標に到達していないため。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (1) 行政手続オンライン化の推進

取組項目群 ② マイナンバー制度の利活用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)						
65	マイナンバーカードの普及促進	3 ・ やや遅れている	-	指標(単位)	マイナンバーカード交付率 【令和元年度：13.9】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙やHP、窓口封筒への案内掲載、コンビニ交付案内チラシの配布</li> <li>・申請困難者への出張申請サポートによるマイナンバーカード取得者数の確保</li> <li>・マイナンバーカード交付窓口について、臨時交付窓口（平日予約不要）の設置や、日曜日及び平日夜間の受取枠を増やす等、受け取る環境を充実させ、交付率の増加を図る。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	67	100	100	100	100	
				実績	35.4	61.1				
<p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務省の普及キャンペーン（マイナポイント第2弾等）や、市のHP・広報紙等で周知を行った他、市内の商業施設や公共施設、各地域まつり等において出張申請サポートを実施した結果、申請率については79.5%となった。</li> <li>・前年度と比較してマイナンバーカードの交付率は大幅に増加したが、目標を下回り、全国の交付率67.0%（R5.4.1現在）よりも下回った。</li> </ul>										
66	マイナンバーカード・マイナンバーを利用したサービスの拡充	2 ・ 概ね達成	1 ・ 目標を達成	指標(単位)	マイナンバーカードを活用し、サービスを拡充した国及び市独自の事例数【令和元年度：3】 (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの普及促進を図る。</li> <li>・マイナンバー制度の周知を図る。</li> <li>・健康保険証へのマイナンバーカードの活用を推進する。</li> <li>・公金受取口座を活用した給付を実施する。</li> <li>・独自利用事務を推進し、添付書類の削減により市民の利便性の向上と行政の効率化を図る。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	5	5	7	7	8		
			実績	5	6					
			2 ・ 概ね達成	指標(単位)	国が示す独自利用事務のうち、市が導入した事例 【令和2年度：18】 (件)					
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
目標	18	19	19	20	20					
実績	17	17								
<p>【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードを活用した事例数については、コンビニ交付、マイナポータル（びったりサービス）の運用、図書館利用者カード化、マイナポイント制度、健康保険証利用、公金受取口座の登録の計6件でマイナンバーカードを活用し、独自利用事務については、17事務について導入しているため、本評価とした。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ① 気持ちの良い窓口づくり

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等			
				指標(単位)							(%)		
67	職員の接遇力の向上	3 ・ やや遅 れている	-	指標(単位)	窓口対応等実態調査における「職員の対応」についての満足度の割合 【令和元年度：80】					(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口対応等実態調査を隔年で実施する。</li> <li>・接遇能力研修については、職員への負担や研修全体の優先度を鑑み、隔年で実施する。</li> </ul>		
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)				
				目標	80	-	80	-	80				
				実績	81								
			3 ・ やや遅 れている	指標(単位)	市長への手紙・メールに寄せられた職員に関する苦情件数 【令和元年度：11】					(件)			
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)				
				目標	0	0	0	0	0				
				実績	11	12							
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員を対象に、接遇能力研修を実施した。窓口対応等実態調査は隔年実施のため、令和4年度は未実施であった。</li> <li>・市長への手紙等に寄せられた接遇に関する苦情等に対し、事実確認を踏まえた適正な対応及び、各職員へ苦情等の意見及び対応の周知を行った。</li> <li>・窓口対応等実態調査での要望事項への対応及び、市長への手紙・メールに寄せられた職員に関する苦情件数が前年度並みであり、目標を達成できなかったため「3・やや遅れている」とした。</li> </ul>										
68	職員のあいさつの励行	4 ・ 大幅に遅 れている	-	指標(単位)	あいさつ運動（駅での街頭キャンペーン）に参加した新規採用職員 【令和元年度：100】					(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員研修（後期）の位置づけで、引き続き、加須市あいさつ運動後期集中強化期間の取組で活動する駅での街頭キャンペーンに参加する。</li> </ul>		
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)				
				目標	100	100	100	100	100				
				実績	0	0							
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・加須市あいさつ運動後期集中強化期間の取組として活動する駅での街頭キャンペーンに、新規採用職員研修（後期）の位置づけで参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で中止であったため、指標の実績を捉えることができなかった。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ① 気持ちの良い窓口づくり

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等		
				指標(単位)	窓口対応等実態調査「待合スペースの過ごしやすさ」満足度割合 【令和元年度：66】 (%)							
69	窓口や待合フロアなどの環境の向上	1・目標を達成	-	指標(単位)	窓口対応等実態調査「待合スペースの過ごしやすさ」満足度割合 【令和元年度：66】 (%)					・来庁者向けナビゲーションシートの継続的な見直しを行っていく。 ・市民課窓口の混雑緩和における、混雑状況の掲載や窓口の分散化（各総合支所、コンビニ）を図る。		
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
				目標	75	-	80	-	85			
				実績	66.4							
			1・目標を達成	指標(単位)	窓口受付マニュアルの整備率 【令和元年度：100】 (%)							
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
				目標	100	100	100	100	100			
				実績	100	100						
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】									
			・行政情報広告放映モニターを活用した情報発信による待ち時間の有効活用を行った。 ・受付番号自動発券機システムによる窓口一括管理を行い、来庁者の目的に添った案内を実施したことにより、フロア環境の向上が図れた。 ・窓口マニュアルや来庁者向けナビゲーションシートの継続的な見直しを行ったことにより、目標を達成することができた。									

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ② わかりやすい窓口づくり

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等			
				指標(単位)								
70	庁舎総合案内の充 実	1・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位)	窓口対応等実態調査「案内表示の分かりやすさ」満足度 割合 【令和元年度：67】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>総合案内用のファイル内容を確認し、適宜必要な情報に更新していく。</li> <li>総合受付カウンターの上及びポスター等の情報を最新のものになるよう各課へ更新を促す。</li> <li>各課名案内看板の設置、更新作業を行う。</li> <li>総合案内の運営方法について検討する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、感染状況や社会情勢などを考慮しながら適宜対策を行う。</li> </ul>		
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
				目標	80	-	80	-	80			
				実績	69.7							
			1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	総合案内来庁者問合せ対応使用案内図の見直し 【令和元年度：12】 (回)							
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
				目標	12	12	12	12	12			
				実績	13	13						
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】									
			<ul style="list-style-type: none"> <li>総合案内用ファイルの案内資料、課名看板及び内容表示、組織改正による看板及び案内図の更新</li> <li>窓口カウンターにアクリルプレート、入退館の導線確保及び手指消毒・検温器を設置</li> <li>各フロアの案内図や総合案内の資料改定等の見直しについて、目標をに達していることから目標を達成している。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出入口の導線表示や手指消毒・検温も実施した。</li> </ul>									

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ③ 手続時間の短縮化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
			指標(単位)	窓口受付マニュアルの整備率 【令和元年度：100】 (%)					
71	窓口受付マニュアルなどの整備・活用	1・目標を達成	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存マニュアルの内容を確認し、随時更新する。</li> <li>マニュアルの適正化により、ミスのない業務推進に努める。</li> </ul>
			目標	100	100	100	100	100	
			実績	100	100				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
			<ul style="list-style-type: none"> <li>各課において窓口業務を点検し、全ての窓口受付マニュアルを整備できたことから、本評価とした。</li> <li>R4年度マニュアル作成数：237件</li> </ul>						
72	押印、書面規制の見直し【再掲(-62)】	2・概ね達成	指標(単位)	押印の見直しを行った行政手続の割合 【令和元年度：なし】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、引き続き行政手続等における押印見直しを進める。</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	90	100	100	100	100	
			実績	81	82				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度に引き続き行政手続における押印の必要性について検証した結果、押印の見直しを行った行政手続の割合が82%（対前年1ポイント上昇）となったことから本評価とした。</li> </ul>									

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ③ 手続時間の短縮化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
			指標(単位)	行政手続等に占めるオンライン利用の割合 【令和元年度：47】 (%)					
73	オンライン化の推進【再掲(-63)】	2・概ね達成	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌やホームページ、SNS等多様な媒体を利用して電子申請・届出サービスの更なる利用促進を図る。</li> <li>・他市町村のオンライン化の実態を適宜調査し、オンライン手続に移行できるものを検討する。</li> <li>・市民の利便性向上や業務効率の効果が高いと考えられる多様な手続を優先してオンライン化する。</li> </ul>
			目標	50	51	52	54	57	
			実績	59.8	47.1				
			備考	目標値の対象手続 ①図書館の図書貸出予約等 ②公共施設予約 ③粗大ごみ収集の申込 ④水道使用開始届等 ⑤地方税申告手続(eLTAX) ⑥入札 ⑦入札参加資格審査申請等 ⑧研修・講習・各種イベント等の申込 ⑨犬の登録申請・死亡届等 ⑩衆議院・参議院等の不在者投票用紙の請求					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・R5年2月及び3月を電子申請推進月間と定め、広報紙等において電子申請・届出サービスの利用を促進した。 ・今年度より上記備考②「公共施設予約」が対象手続に追加され、申請数の総件数(割合に係る分母)が昨年度に比べ8万件増加(うち2万3700件がオンライン申請数)したことで、結果オンライン利用割合が減少した。令和4年度は初年度ということもあり、今後はオンライン利用が浸透していくことで申請数が伸びるものとする。						
74	公共施設インターネット予約の推進【再掲(-64)】	3・やや遅れている	指標(単位)	インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合 【令和元年度：なし】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・加須市公共施設予約管理システム導入についての広報及び操作方法等の周知</li> <li>・システム利用率向上に向けた周知及び広報</li> </ul>
			年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	導入	50%	55%	60%	65%	
			実績	導入	33%				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和4年4月1日より公共施設予約管理システムの運用が開始されたが、設定した目標に到達していないため。						

「市役所力」の向上

- 基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上  
 施策 (2) 窓口サービスの向上  
 取組項目群 ④ 市民サービス窓口の拡充

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	住民票・印鑑証明書等のコンビニ交付の発行割合 ( % ) 【令和元年度：4】					
75	証明書などの発行窓口の拡充	1・目標を達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ交付の利用促進を行う</li> <li>・継続的にコンビニ交付サービスの周知を行い、利用率の向上を図る。</li> <li>・マイナンバーカードの申請サポートを市民課及び各総合支所市民税務担当窓口において実施し、取得促進を図る。</li> </ul>
				目標	8	10	12	14	15	
				実績	9.65	14.08				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・目標としていたコンビニ交付の発行割合については、コンビニ交付サービスの周知とマイナンバーカードの取得促進を図ったため、目標を達成することができた。										

「市役所力」の向上

- 基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上  
 施策 (2) 窓口サービスの向上  
 取組項目群 ⑤ サービス時間の見直し

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	開館日等（時間）の見直しを行った公共施設の種類又は窓口等の検討回数 【令和元年度：実施】 ( 回 )					
76	開館日等の見直し	1・目標を達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休館日を変更する施設の選定、および当該施設利用者を含む市民への周知</li> </ul>
				目標	1	1	1	1	1	
				実績	1	1				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・コミュニティセンターや市民総合会館などコミュニティ関連施設においては、火曜日を休館日としている施設がほとんどであるため、施設利用者の利便性の向上のため、休館日の変更について検討を開始したことから本評価とした。										

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ⑥ サービスに関する情報の提供

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	ガイドブックの見直し実施率 【令和元年度：100】 (%)					
77	ガイドブックなどの 充実	1・ 目標を 達成	-	指標(単位)	ガイドブックの見直し実施率 【令和元年度：100】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・2種の新刊が発行、20種の最新版への更新</li> <li>・引き続き、見やすく、わかりやすい紙面づくりに努める。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市民への情報提供の充実を図るため、各課においてガイドブック等の見直し（統合・廃止を含む）を行い、ガイドブック等の発行数74種について改定や見直しが実施されたことから本評価とした。										
78	メール配信の充実 【再掲(-4)】	2・ 概ね 達成	-	指標(単位)	市人口に対する「かぞっとメール」の実登録者の割合 【令和元年度：14】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者の拡大に向け、継続して、市ホームページや広報紙に利用案内を掲載するとともに、転入者にチラシを配布する。</li> <li>・今後は、さらなる行政情報配信の充実に向け、ラインへの機能移行を図っていく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	18	20	22	23	25	
				実績	16.1	16.1				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・かぞっとメールの周知と利用案内について、市ホームページや広報紙に掲載するとともに、転入者にチラシ配布等を行った結果、実登録者数が増加し、概ね目標を達成することができた。 実登録者数 18,097人（4月1日現在人口 112,230人） （参考）令和3年度実登録者数は17,979人。										

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (3) 個人情報の保護

取組項目群 ① 情報セキュリティの確保

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	保有個人情報開示請求に係る平均処理日数（処理日数の合計÷処理件数）【令和元年度：7】（日）					
79	個人情報制度の運用	1・目標を達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、保有個人情報の開示請求に係る決定を迅速に行えるよう働きかけ、平均処理日数の維持短縮を図る。</li> </ul>
				目標	10	10	10	10	10	
				実績	6.9	6.8				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
80	情報セキュリティポリシーの遵守	1・目標を達成	-	指標(単位)	セキュリティ研修の受講率【令和元年度：なし】（%）					<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートラーニングによる情報セキュリティ研修を実施し、受講率100%を維持する。</li> <li>従来のリモートラーニングに加えて、集合研修の開催を検討する。</li> <li>引き続き、各課に情報化推進主任及び情報化責任者を配置し、情報セキュリティポリシーの遵守に努める。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
81	情報システム基盤の安定的な運用	2・概ね達成	-	指標(単位)	システム稼働率【令和元年度：なし】（%）					<ul style="list-style-type: none"> <li>業務継続性や運用管理コストの軽減等のクラウド化によるメリットを勘案し、最適なシステム環境の構築を図る。（クラウドファーストの推進）</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	99.9	99.91				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内ネットワークの安定稼働を図るため、稼働監視やメンテナンス等の適正な運用管理を行った。</li> <li>市内ネットワークの動作遅延が発生し、業務が約10分間遅延が生じた。</li> <li>（【その他】グループウェア閲覧不可：計50分、インターネット接続不可等：計220分）</li> </ul>										

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (1) 計画的な行財政運営

取組項目群 ① スクラップアンドビルドの推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	改善を行った事務事業の割合 【令和元年度：100】 (%)					
82	1 事業1 改善の実 施（加須やぐるま マネジメントサイ クルの推進）	1・ 目 標 を 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・事業管理シートを活 用し、事務事業の適正 な進行管理をすること はもとより、事業推進 の基礎資料として活用 する。
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・事業管理シートヒアリング及び予算編成時の事業管理シートの更新を通して、 全事業を確認し改善につなげたことから「目標を達成」とした。						

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (1) 計画的な行財政運営

取組項目群 ② 収支の均衡

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	経常収支比率 【令和元年度：89.3】 (%)					
83	経常収支比率の改善	1・目標を達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、人件費などの経常経費の抑制や、財源確保に取り組み、経常収支比率の改善を図っていく。</li> </ul>
				目標	91.8	91.7	91.6	91.5	91.4	
				実績	87.9	91.3				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般的に都市部にあつては75%程度、町村にあつては70%程度の比率が妥当とされている数値で、これより5%超えると弾力性を失いつつあると言われて</li> <li>いる。</li> <li>令和4年度においては、正職員数の減に伴う人件費の減少があつたが、電気料金の高騰に伴う物件費の増加や障害児通所給付費・障害福祉サービス費等の増による扶助費の増加などにより、経常収支比率の算式の分子である経常一般財源支出が増加した。一方、分母である経常一般財源収入も臨時財政対策債の減に伴い減少した。分母が減となり分子が増となったため、経常収支比率は昨年度より3.9ポイント増加した。</li> </ul>						
84	統一的な基準による地方公会計の活用	2・概ね達成	-	指標(単位)	財務書類等の作成・活用【令和元年度：作成・活用】・					<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の統廃合を検討する際には、必要に応じて施設個別の行政コスト計算書などを作成する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	作成活用	作成活用	作成活用	作成活用	作成活用	
				実績	作成活用	作成活用				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 <ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産台帳について、管理契約課との調整、連携によりスケジュールどおりに更新することができた。</li> <li>近隣市及び類似団体の財務諸表の情報把握を行い、比較を行った。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (1) 計画的な行財政運営  
 取組項目群 ② 収支の均衡

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	行政評価と連動した予算編成の実施【令和元年度：実施】・					
85	戦略的な予算編成の実施	2 ・ 概ね達成	-	指標(単位)	行政評価と連動した予算編成の実施【令和元年度：実施】・					<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症対応などの緊急的な補正予算編成では、国からの情報を随時収集し、漏れの無いよう予算編成にあたる。</li> <li>・当初予算編成では、政策調整課、業務改善課と連携し、特に今後課題となる公共施設の管理費用等については、中長期的な面を考慮しながら、予算編成および財政運営に取り組む。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	実施	実施	実施	実施	実施	
				実績	実施	実施				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業管理シートを管理する政策調整課、補助金等の見直しを進める業務改善課との合同によるサマーレビュー、三課ヒアリング、市長査定へと継続して連携を図り、行政評価と連動した予算査定、編成を実施した。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (1) 計画的な行財政運営  
 取組項目群 ③ 債務残高の圧縮

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	普通会計における市債残高【令和元年度：329】(億円)					
86	市債の適切な新規発行	2 ・ 概ね達成	-	指標(単位)	普通会計における市債残高【令和元年度：329】(億円)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方債借入れのための手法について確認し、必要に応じ県の担当者等と具体的な協議を図る。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	330	329	328	327	326	
				実績	312	288				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市債の新規発行を適切に行った。</li> <li>（臨時財政対策債：545,066千円、緊急防災・減災事業債（受変電設備等改修及び設備棟建設工事）：125,600千円、緊急浚渫事業債（旧川浚渫工事）：84,400千円 など）</li> <li>・交付税措置のある事業債を積極的に活用した。</li> <li>・普通建設事業費の財源には、市債と基金を積極的に活用した。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (1) 計画的な行財政運営  
 取組項目群 ④ 将来への備え

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	公共施設等再整備基金の積立率（当該年度積立額/前年度取崩額）【令和元年度：44】					
87	適正な基金への積立と活用	2・概ね達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等の統廃合や経済対策など、今後の財政需要を考慮しながら、各基金への積立、積戻しや、各年度の元利償還額・市債残高を試算等し、財源の確保にあたる。</li> </ul>
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	262	458				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等再整備基金のR3年度の取崩し額は469,732千円、R4年度積立額は2,150,069千円となり、目標値は達成しているが、今後、公共施設等の改修等経費に膨大な額が見込まれ、引き続き収支の状況を勘案しながら積み立てを行う必要があることから、概ね達成とした。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (2) 効果的な行政運営  
 取組項目群 ① 財源確保の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	市税の収納率 【令和元年度：98】						(%)
88	市税（国民健康保険税を除く）の収納対策の推進	2・概ね達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、調査を徹底し、滞納処分、徴収緩和措置を適切に講じる。</li> </ul>	
				目標	98.0	98.1	98.2	98.3	98.4		
				実績	97.8	98.0					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>滞納者の財産調査を徹底し、納付資力があながら納付しない場合は、納期限までに納税された方との公平性を保つため、やむを得ず滞納処分を執行する一方、納付資力がない場合は、徴収緩和措置を適切に講じ、税負担の公平性及び自主財源の確保に努めたことから、目標値に近い実績となった。</li> </ul>											
89	料金などの確実な収納	1・目標を達成	-	指標(単位)	各種料金などの収納率 【令和元年度：95】					(%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>収納対策部会を開催し、各種料金等の納付状況や消滅債権の状況を確認する。</li> <li>年度当初に、収納対策実施要領・年間スケジュールを策定し、計画的に収納対策を実施するとともに、債権管理の適正化に努める。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	95.3	95.4	95.5	95.6	95.7		
				実績	95.4	96.0					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種料金等収納対策実施要領・年間スケジュールに基づいた収納対策が図られ、収納率向上に努めたことから、目標数値を達成することができた。</li> </ul>											

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (2) 効果的な行政運営  
 取組項目群 ① 財源確保の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)							(件)
90	資産の有効活用等	2・概ね達成	-	指標(単位)	未利用市有地（普通財産・土地）の売払い又は利活用決定件数 【令和元年度：2】					(件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産管理運用委員会を開催し、未利用財産の区分けを行い、利活用を行う。</li> <li>・財産の取得・処分検討委員会を開催し、未利用市有地の公売に向けて諮問を行う。</li> <li>・旧騎西ミューンティカ-利活用庁内検討委員会を開催する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	2	2	2	2	2		
				実績	8	4					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・随意契約による普通財産（本町警察官住宅跡地、騎西地区保有地No.1、備前堀土地改良区貸付地、鴻基幼稚園協用地）の売却。</li> <li>・4件の普通財産の売却が実施できており、目標を達成できたものであるが、新たな未利用市有地もあるため「概ね達成」とした。</li> </ul>											
91	企業誘致・立地支援などの推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	市内工業団地等への立地事業所数 【令和元年度：2】					(社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、関係各課と連携を図り、市内における立地可能な適地等の検討・協議・精査を行い、企業誘致を推進する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	2	2	2	2	2		
				実績	10	4					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課と連携を図り、市内における立地可能な適地等の検討・協議・精査を行った。また、令和4年度は、市内工業団地内に4件（居抜き含む）の立地があったため、左記の評価とした。</li> </ul>											
92	広告収入の確保	2・概ね達成	-	指標(単位)	広告媒体の種類 【令和元年度：6】					(種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、民間企業との協働による新たな財源確保や歳出削減策を検討する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	6	6	7	7	8		
				実績	5	5					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に広告料収入（市ホームページのバナー広告など）又は無償提供（広告付き受付番号自動発券機システムなど）があったものは5媒体であったため、本評価とした。なお、収入及び削減額の合計は1,964千円であった。</li> </ul>											

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (2) 効果的な行政運営  
 取組項目群 ② 効率的な事務の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	【令和元年度：1】 (件)					
93	AI・RPAの活用	1・目標を達成	-	指標(単位)	AI・RPAの活用数 【令和元年度：1】 (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>AI技術を搭載した新たなシステムの導入を検討する。</li> <li>AI-OCRとRPAの活用業務を拡充する。</li> <li>継続的なAI・RPA利用促進に関する庁内周知を行う。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	4	6	8	12	16	
				実績	4	7				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
・特定検診勧奨対象者抽出、議事録作成支援、がん検診結果入力、口座振替依頼書、絆アンケート結果入力、人事異動に関する自己申告書、入札資格審査入力票の入力業務にAI・RPAを活用した。										
・情報化責任者会議を令和5年2月27日に開催し、AI・RPAの活用について周知した。										
94	電子入札の推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	建設工事等における電子入札導入割合 【令和元年度：100】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、埼玉県電子入札システムを活用し、適正に入札事務を遂行していく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
・令和4年度は272件入札を実施し、全ての案件において電子入札システムにて入札事務を適性に執行した。										
95	公共施設インターネット予約の推進【再掲-64】	3・やや遅れている	-	指標(単位)	インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合 【令和元年度：なし】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>加須市公共施設予約管理システム導入についての広報及び操作方法等の周知</li> <li>システム利用率向上に向けた周知及び広報</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	導入	50%	55%	60%	65%	
				実績	導入	33%				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
・令和4年4月1日より公共施設予約管理システムの運用が開始されたが、設定した目標に到達していないため。										
96	ペーパーレス化の推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	ペーパーレス化に向けた累計取組数 【令和元年度：2件】・ (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きペーパーレス会議の普及促進、プリンタ出力枚数の削減等を図る。</li> <li>庶務事務システム等の新たなペーパーレスの取組みを検討する。</li> </ul>
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	3	3	4	4	5	
				実績	3	3				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
・ペーパーレス会議、複合機のスキャン機能による資料等のデータ化、プリンタ出力枚数の削減依頼に係る各課における出力枚数の集計を実施										

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (2) 効果的な行政運営

取組項目群 ② 効率的な事務の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)						
97	情報システムの最 適化	3 ・ やや 遅れ てい る	-	指標(単位)	庁内共通システムのクラウド化 【令和元年度：25】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウド化されていない庁内共通システム（財務会計・グループウェア）について、業務継続性や運用管理コストの軽減等のクラウド化によるメリットを勘案し、最適なシステム環境の構築を図る。（グループウェアシステムのクラウド化に関する調査を実施し、令和5年度システムアセスメントにおいて検討）</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	50	75	75	100	100	
				実績	50	50				
				備考	庁内共通システム：住民情報、財務会計、グループウェア、ホームページ管理					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内共通システムのうち、住民情報システム、ホームページ管理システムのクラウド化は令和3年度までに実施済み。</li> <li>財務会計システムのクラウド化を検討した結果、運用管理コストが増大するため、今後のシステムライフサイクルを勘案し、次期更改に向けて調査等を継続する。</li> </ul>										
98	事務経費の削減	3 ・ やや 遅れ てい る	-	指標(単位)	普通会計における物件費の令和元年度比削減累計額 (百万円)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、各部課へのヒアリング等により事務事業の評価、見直し等を進め、事務経費の削減に取り組んでいく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	▲30	▲60	▲90	▲120	▲150	
				実績	▲122	505				
				備考	※令和元年度物件費：6,480百万					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き予算査定時に予算の削減に努め、計画的・効率的な予算執行と経費抑制に全庁的に取り組んだが、電気料金や材料費の高騰を理由に、需用費が大きく増大してしまったため、「やや遅れている」とした</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (2) 効果的な行政運営  
 取組項目群 ③ サービスと負担の適正化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ごとの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	適正な使用料・手数料の設定 【令和元年度：方針の協議】					
99	施設使用料・交付 手数料等の見直し	4・大 幅に 遅 れ て い る	-	指標(単位)	適正な使用料・手数料の設定 【令和元年度：方針の協議】					・施設使用料・交付手 数料の調査結果等を基 に、統一した基本方針 を策定する。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	方針検討	方針策定	周知	実施	実施	
				実績	方針検討	方針検討				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・基本方針及び算定基準（案）について検討は継続して行っているものの、基本 方針の作成や、算定基準（案）に基づいた試算による影響を検討する段階まで至 らず、本評価とした。										
100	各種団体補助金等 の見直し	4・大 幅に 遅 れ て い る	-	指標(単位)	適正な各種団体補助金等の交付 【令和元年度：検証】					・段階的な検証を実施 するため、加須市補助 金適正化検討委員会を 中心に各補助金の適正 化に向けた検証を実施 する。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	検証	検証	周知	実施	実施	
				実績	検証	検討				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・補助金交付団体942団体に対し、統一した対応が必要であり、検証結果に よっては市民への影響も大きいいため慎重な対応が求められていることから、補助 金交付団体に対する加須市補助金適正化検討委員会のチェック項目及び評価方法 の検討に留まっている。 ・具体的な方策が見いだせていないことから、本評価とした。										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ① 働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)							(%)
101	ワーク・ライフ・ バランスの徹底	1・ 目標 を 達成	-	指標(単位)	ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合【令和元年度：97】					(%)	・引き続き、各月のグループウェアへの掲載と、入力確認を徹底する。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	97	97	97	97	97		
				実績	98.5	98.2					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的に実施する年6回のワーク・ライフ・バランスデー及び各課で年6回のワーク・ライフ・バランスデーを設定し、設定日当日は、グループウェア、庁内放送、各所属長から周知した。</li> <li>・令和3年度に引き続き定時退庁者の目標値を達成することができ、職員への制度浸透が図られた。</li> </ul>											
102	時間差勤務制度の 拡充	1・ 目標 を 達成	-	指標(単位)	時間差勤務の種類(累計)【令和元年度：0】					(件)	国及び県の動向を注視しながら制度の拡充を検討する。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	1	1	1	2	2		
				実績	1	1					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・19時まで閉室している公立放課後児童健全育成室に対応するため、従事する職員に対する時間差勤務(フレックスタイム)を導入し、2体制での勤務としている。</li> <li>①8:30~17:15</li> <li>②10:30~19:15</li> </ul>											
103	効率的な庁内会議 の開催	2・ 概 ね 達 成	2・	指標(単位)	事前に設定した目標時間以内で実施した庁内会議の割合【令和元年度：86】					(%)	・引き続き、効果的かつ効率的な庁内会議の運営に努めるよう周知徹底を行い、指標実績値の向上を図る。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	90	90	95	95	100		
				実績	78.6	75					
		2・ 概 ね 達 成	2・	指標(単位)	ガイドラインに基づくチェックリストの達成度が「全てできた」又は「おおむねできた」会議の割合【令和元年度：100】					(%)	
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績値が目標値の8割以上に達しているため、本評価とした。</li> </ul>											

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ① 働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)						
104	タイムマネジメントの実施	4・大幅に遅れている	-	指標(単位)	深夜勤務多回数者（四半期で10回以上）を有する課の数 【令和元年度：5】 (課)					<ul style="list-style-type: none"> <li>深夜勤務多回数者の所属長に対し、四半期毎に結果を通知するとともに、報告書の提出を求める。また、所属長に対し、必要に応じてヒアリングを行うことでタイムマネジメントへの意識を高める。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	0	0	0	0	0	
				実績	7	9				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和4年4月6日付けで、働き方改革の推進について通知した。 ・深夜勤務多回数者の所属長に対し、結果を通知するとともに、部下職員のマネジメント状況報告書を提出してもらい、今後の状況を確認した。 ・多回数者を有する課が複数あり、目標を達成できなかった。										
105	オンライン会議の活用	1・目標を達成	-	指標(単位)	オンライン会議等の利用件数 【令和元年度：なし】 (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>各課配置のパソコン（LGWAN接続系）からオンライン会議が可能となるよう、仮想インターネット接続の技術を活用し、更なる職員の利便性向上を図るため、引き続きオンライン会議の環境整備等を行う。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	120	140	160	180	200	
				実績	590	509				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・オンライン会議に必要な機器貸出、ネットワーク環境等を提供した。 ・各課に設置されているパソコン（LGWAN接続系）において、柔軟にオンライン会議が可能となるよう環境を整備する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による接触機会の削減を契機に、オンライン会議の需要が高まり、目標値を達成することができた。										
106	AI・RPAの活用 【再掲（-93）】	1・目標を達成	-	指標(単位)	AI・RPAの活用数 【令和元年度：1】 (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>AI技術を搭載した新たなシステムの導入を検討する。</li> <li>AI-OCRとRPAの活用業務を拡充する。</li> <li>継続的なAI・RPA利用促進に関する庁内周知を行う。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	4	6	8	12	16	
				実績	4	7				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・特定検診勧奨対象者抽出、議事録作成支援、がん検診結果入力、口座振替依頼書、絆アンケート結果入力、人事異動に関する自己申告書、入札資格審査入力票の入力業務にAI・RPAを活用した。 ・情報化責任者会議を令和5年2月27日に開催し、AI・RPAの活用について周知した。										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ② 課題意識の醸成

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	行政評価についての職員の理解度 【令和元年度：100】 (%)					
107	加須やぐるまマネジメントサイクル（行政評価）を通じた人材育成	1・目標を達成	-	指標(単位)	行政評価についての職員の理解度 【令和元年度：100】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、行政評価研修会などを通して、職員一人一人が事業の目的や課題を明確にして、各種取組につなげていく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用職員研修の中で行政評価の概要を説明したほか、加須やぐるまマネジメントサイクルによる事務事業の目的や目標、課題などを明確にして業務が遂行できるよう職員に対し行政評価研修を当初予算編成方針説明会で実施（令和4年10月4日）ことから、目標を達成とした。</li> </ul>										
108	1課1改善運動の実施	3・やや遅れている	-	指標(単位)	全課の事務改善合計件数 【令和元年度：108】 (件)					<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員が効果的・効率的な業務遂行を意識し、事務改善に取り組めるよう、職場環境の醸成に努める。</li> <li>事務効率及び市民サービスの向上のため、改善事例における各課の取組状況を確認する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	108	109	110	111	112	
				実績	78	76				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>全56課所室から76件の改善報告があったものの、目標件数に達することができなかったため本評価とした。なお、76件の改善報告のうち5件を優秀賞、1課を最多賞として表彰した。</li> <li>改善報告、改善事例集を作成し、職場環境改善の情報共有及び意識共有に努めた。</li> <li>他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果が高まった。</li> </ul>										
109	「気づき」などの報告制度の推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	事務処理ミスにおける分析・対応率 【令和元年度：100】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>事務処理ミスの事前対策や情報を発信することで、リスクに対応する危機意識の醸成を図る。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務処理のミスをして報告された18件の全ての事例を分析し、的確な対応に努めた結果、目標としていた事例分析・対応率100%を達成することができたため本評価とした。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ③ 改革・改善意欲の醸成

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ごとの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	職員提案件数 【令和元年度：52】 (件)					
110	職員提案制度の活用	4・大幅に遅れている	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの職員との意見提案の機会となるよう、制度の周知・活性化を図る。</li> <li>・事務効率及び市民サービス向上のため、改善事例における各課の取組状況を確認する。</li> </ul>
				目標	52	52	52	52	52	
				実績	23	24				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
111	自主研究グループの設置・活動の促進	4・大幅に遅れている	-	指標(単位)	調査及び研究費用の一部を助成したグループ数 【令和元年度：0】 (グループ)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、自主研究グループ支援制度の周知に併せ、県内他市の状況などの情報を提供していく。</li> <li>・研修時に機会をみて周知していく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	1	1	1	1	1	
				実績	0	0				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主研究グループ支援制度の周知をおこなったが、自主研究グループからの申請請求がなかったため。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ④ 目指す職員像の共有化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ごとの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	取組項目の達成率 【令和元年度：96】 (%)					
112	職員能力開発基本 方針の周知徹底・ 推進	2 ・ 概 ね 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・引き続き、加須市人 材育成基本方針で具体 化した取組項目につい て、推進を図る。
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	96	97				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
113	職員行動指針の浸 透・具体化	2 ・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	共通目標を達成できた職場の割合 【令和元年度：99】 (%)					・引き続き、朝礼時の 唱和と、目標達成のため の具体策の設定を徹底 する。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	99.1	99.1				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑤ 研修制度の充実

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	自主研修において受講前に設定した受講目標が達成できた職員の割合 【令和元年度：82】						(%)
114	体系的・計画的な 研修の推進	2 ・ 概 ね 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・引き続き、計画的に 職員研修を行い、職員 の能力開発を図る。	
				目標	85	85	85	85	85		
				実績	81	82					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
				・令和4年度の職員研修実施計画に基づき各種研修を実施し、自主研修の効果測定において目標値に近い実績となったため。（自主研修数14件、研修参加延べ人数2,297人）							
115	職場内研修の 推進	2 ・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	新規採用職員サポーター制度に係るアンケートにおける有効度の割合 【令和元年度：100】					(%)	・引き続き、サポ ーターハンドブックを 活用しながら、新規採用 職員に対しOJTを積 極的に行う。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	98.4	98.2					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・令和4年4月にサポーターを指名し、新規採用職員、サポーター、所属長で目標を設定し、サポーターハンドブックを活用しながら、OJTを積極的に実施した。積極的なOJTの実施により、目標値に近い実績となったため。											

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑥ 職員の専門性の向上

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	【令和元年度：14】 (件)					
116	スペシャリストの 育成	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	専門研修への職員派遣数 【令和元年度：14】 (件)					・引き続き、職員の専 門性の向上に取り組 み、スペシャリストの 育成を図る。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	10	10	10	10	10	
				実績	7	9				
				備考	目標値における平成29年度～令和元年度の平均：10件 派遣先（自治大学校、市町村アカデミー、国土交通大学校、全国地域 リーダー養成塾）					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・自治大学校等へ計9人を派遣（自治大学校2人、市町村職員中央研修所6人、 国土交通大学校1人）し、職員の専門性の向上に取り組むことができたため。										
117	資格取得の支援	3・ や や 遅 れ て い る	-	指標(単位)	支援した職員数（衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推 進者） 【令和元年度：4】 (人)					・引き続き、職員の専 門性の向上に取り組 み、資格取得を支援し ていく。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	7	7	7	7	7	
				実績	7	5				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・衛生管理者2名及び衛生推進者3名につき、資格取得のための講習会派遣、資 格取得の登録料の助成等を実施した。 ・資格者不在の施設につき研修の受講勸奨を行ったが、令和4年度は該当施設が 3か所であったため、目標の7割程度の実績となった。						

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑦ 職員の健康管理

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	定期健康診断及び人間ドック等の受診率 【令和元年度：91】 (%)					
118	衛生管理の推進	2 ・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	定期健康診断及び人間ドック等の受診率 【令和元年度：91】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、職員の健康診断の実施、未受診者への受診勧奨を行い、職員の健康管理に努めていく。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	91	91	91	91	91	
				実績	89.5	90.0				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>次のとおり定期健康診断を実施した。</li> <li>実施日 令和4年7月11日・13日～15日・25日・27日～29日</li> <li>実施場所 パストラルかぞ</li> <li>上記診断未受診者に対し、人間ドック等の受診勧奨を個別メールで送信した</li> <li>未受診者等への受診を促したことにより、目標値に近い実績値となった。</li> </ul>										
119	心の健康づくり計画の推進	3 ・ やや 遅 れ て い る	-	指標(単位)	メンタル系疾患による1箇月以上の病休・休職した職員の割合 【令和元年度：2.2】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、「加須市職員 心の健康づくり計画」に基づいて各種取組を実施し、職員の健康管理に努めていく。</li> <li>職員が仕事をしやすい環境づくりや働き方改革を推進する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	
				実績	2.3	3.4				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスチェックの実施（実施期間：令和4年7月15日～29日）</li> <li>各部課選出職員向けメンタルヘルス（セルフケア）研修の実施（実施日：令和4年7月22日 修了者45人）</li> <li>管理職向けメンタルヘルス（ラインケア）研修の実施（実施日：令和4年8月3日 修了者49人）</li> <li>産業医（精神科）による健康相談（12回）</li> <li>計画に係る各取組は実施したものの、病休・休職者の割合が増加したため、やや遅れているとした。</li> </ul>										
120	ワーク・ライフ・バランスの徹底【再掲(-101)】	1 ・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位)	ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合 【令和元年度：97】 (%)					<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、各月のグループウェアへの掲載と、入力確認を徹底する。</li> </ul>
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	97	97	97	97	97	
				実績	98.5	98.2				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>全庁的に実施する年6回のワーク・ライフ・バランスデー及び各課で年6回のワーク・ライフ・バランスデーを設定し、設定日当日は、グループウェア、庁内放送、各所属長から周知した。</li> <li>令和3年度に引き続き定時退庁者の目標値を達成することができ、職員への制度浸透が図られた。</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑧ 優れた能力・資質を有する人材の確保

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	職員採用試験の実施内容の見直し 【令和元年度：3】 (件)					
121	職員採用試験の見直し	1 ・ 目 標 を 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・引き続き、優れた能力、資質を有する人材の確保に努めていく。
				目標	2	2	2	2	2	
				実績	2	2				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・人づくり広域連合が7月に開催した「埼玉各市町村職員採用合同説明会」及び「オンライン相談会」に参加し、積極的にPRした。 ・採用に関する情報（ポスター、動画など）を、ホームページ等で積極的に提供した。 ・他市町村との差別化を図るため、「加須市職員採用情報フォーラム」を1月に開催（オンライン）した。 ・最も利用された就職情報サイトNo. 1であるマイナビに企業情報を掲載した。 ・より人物重視の選考にするため、中堅職員面接を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策（試験会場の分散、検温の実施等）を講じ実施した。 ～R4年度見直し～ ①技術系の職種（土木・建築・電気・機械）に係る大学へ集中的に募集案内を郵送 ②幹部面接面接官の選考方法の見直し ・募集職種への集中的アプローチ及び幹部面接面接官の選考方法の見直しを行った上で採用試験を実施したため。						

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑨ 組織・機構の再編

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	組織・機構の見直し 【令和元年度：実施】					
122	組織・機構の再編	2 ・ 概 ね 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、各部課への調査・ヒアリングにより課題の把握に努める。</li> <li>組織の見直し、事務の効率化、民間委託等の推進などにより、簡素で効率的な組織づくりを進める。</li> </ul>
				目標	実施	実施	実施	実施	実施	
				実績	実施	実施				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・職員の定員管理を図りつつ、今後、更なる少子化・長寿化の進展が見込まれるなかで、市民ニーズを的確に捉えつつ、安定的かつ一体的な行政サービスの提供が行える体制とするため、令和5年度組織等の見直しを行った。 ①市民相談に関する事務を総務部の所管とし、「市民相談室」を総務部へ配置 ②子育て支援課を分割し「すくすく子育て相談室」を課として再編 ③「病院を核とした新たなまちづくり」の推進に伴い、まちづくり課を再編し、「スーパーシティ推進課」を新設、「開発指導担当」を建築課へ編入し、「建築開発課」として再編、「施設・公園緑地担当」を道路課へ編入し、「道路公園課」として再編 ④各総合支所市民福祉健康課を廃止し、同課の各担当を本庁各課に属する地域担当として再編  ・部課数 17部局支所54課（R4.4.1）前年度比較2課減 ・上記のような見直しを実施したことにより、目標としていた組織・機構の見直しの推進を概ね達成することができた。						

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑩ 適切な定員管理

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等
				指標(単位)	定員の見直し【令和元年度：696】・					
123	業務量に対応した 定員管理の実施	2 ・ 概 ね 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、各部課への調査・ヒアリングにより課題の把握に努める。</li> <li>将来にわたって行政サービスを確実に且つ効率的に提供し、新たな行政需要に的確に対応するため、業務量に応じた必要な人員を確保するとともに、業務の効率化や既存体制の見直し等により、適切な定員管理を実施する。</li> </ul>
				目標	実施	実施	実施	実施	実施	
				実績	実施	実施				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>定員管理については、将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に対して的確に対応するため、業務量に応じた必要な人数を確保するとともに、業務の効率化や既存体制の見直しなど、令和5年度の定員管理を実施した。</li> <li>職員数：令和4年度 703人→令和5年度 700人（▲3人）</li> </ul>										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑪ 民間委託などの推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	新たに委託する（指定管理者制度の導入含む。）業務の 数 【令和元年度：2】 (件)					
124	業務委託の推進	1・ 目標 を 達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・組織や予算のヒアリング時において、施設の管理・運営を主体とした業務について、指定管理者制度の導入とともに委託の検討をさらに進める。
				目標	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
				実績	1	1				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・R5.3.31をもって指定管理期間が終了する大和根総合福祉会館について、指定管理制度継続の適否について検証した結果、温浴施設の休止に伴い、指定管理を解除し、市直営施設となった。しかしながら、使用を継続する同施設内の貸出施設については、予約に係る受付業務を委託することとした。 ・上記のようなことから、目標としていた新たな委託等の業務数について、達成することができたため本評価とした。										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑫ 若手や女性の積極的登用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等				
				指標(単位)										
125	昇任制度の運用	3 ・ やや遅 れている	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	4月1日現在の管理職に占める女性職員の割合 【令和元年度：22】					(%)	・昇任試験の実施につ いては、各部課長から 該当者に周知してもら うなど、男女を問わず 昇任試験を受験するよ う周知する。また、グ ループウェアでもこま めに周知する。			
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)					
				目標	22	23	23	24	25					
				実績	22.3	22.3								
				指標(単位)	新たに受験資格を満たした職員の「主幹」・「主査」試 験受験率 【令和元年度：主幹56・主査70】					(%)		・昇任試験の実施につ いては、各部課長から 該当者に周知してもら うなど、男女を問わず 昇任試験を受験するよ う周知する。また、グ ループウェアでもこま めに周知する。		
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)					
				目標	主査50 主幹70	主査50 主幹70	主査50 主幹70	主査50 主幹70	主査50 主幹70					
				実績	主査45.5 主幹38.9	主査70.6 主幹27.3								
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
				・女性管理職数 46人／管理職数 206人 (22.3%)										
・新規昇任試験受験資格者の受験率														
①主査職：受験者数 12人／対象者数 17人(=受験率 70.6%)														
②主幹職：受験者数 3人／対象者数 11人(=受験率 27.3%)														
・管理職に占める女性職員の割合については、わずかに目標値を下回った。														
・昇任試験の受験率については、主査職は目標値を大幅に上回ったが、主幹職は大幅に下回ってしまった。														
126	若手や女性職員によるプロジェクトチームの編成	1 ・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位)	プロジェクトチームにより具現化された提案数 【令和元年度：提案数8】					(件)	・提案内容の事業化に 向けて、関係課と調整 を図る。 ・プロジェクトチーム への積極的な参加を促 進する。			
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)					
				目標	6	6	6	6	6					
				実績	5	7								
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】										
				・「KAZO VIVA ～カゾの遊ビバ～」をテーマとしてプロジェクトチームによる提案がされた。										
・プロジェクトチームによる提案のうち、7本の提案が実施されることとなり、「誰もが楽しく健康に過ごせるまちづくり」の充実を図ることができたことから、本評価とした。														

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑬ 人事交流の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	県や民間企業等へ派遣した職員の数 【令和元年度：10】 (人)					
127	県・民間企業などとの人事交流	1・目標を達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	・今後も埼玉県や民間企業等との積極的な人事交流を図る。
				目標	8	8	8	8	8	
				実績	7	9				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
				・埼玉県への派遣4人（市町村課1人、文書課1人、行田県土整備事務所2人） ・（一社）地域活性化センター1人 ・彩の国さいたま人づくり広域連合1人 ・（福）加須市社会福祉協議会1人 ・国土交通省利根川河川事務所1人 ・埼玉県後期高齢者医療広域連合1人						

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑭ トップマネジメントの強化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	マネジメント研修において受講前に設定した受講目標が達成できた職員の割合【令和元年度：90】 (人)					
128	マネジメント研修の実施	2・概ね達成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	・引き続き、マネジメント研修を実施し、マネジメント力の強化を図る。
				目標	95	95	95	95	95	
				実績	86	84.5				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
				・課長以上の職員等を対象にメンタルヘルス（ラインケア）研修を実施（実施日：令和4年8月3日 修了者49人） ・課長以上の職員等を対象に人事評価（評価者）研修を実施（実施日：令和4年10月20日 修了者68人） ・自主研修の効果測定において、目標値に近い実績となったため。						

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑭ トップマネジメントの強化

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進【令和元年度：実施】・					
129	人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進【令和元年度：実施】・					・人事評価制度を適正に運用する。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
				目標	実施	実施	実施	実施	実施	
				実績	実施	実施				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・課長以上の職員等を対象に人事評価（評価者）研修を実施（実施日：令和4年10月20日 修了者68人） ・人事評価制度（能力評価及び業績評価）を適正に実施し、評価結果を処遇等へ反映するとともに、人事異動や昇任の参考とした。										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理  
 取組項目群 ⑮ 組織マネジメントの整備・運用

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	適正な契約事務の執行率【令和元年度：100】（％）					
130	リスクマネジメントの適正な運用	1・目標を達成	1・目標を達成	指標(単位)	適正な契約事務の執行率【令和元年度：100】（％）					・契約事務において、疑念等を抱かれない様、引き続き適正に契約事務を遂行していく。 ・「リスクマネジメント基本方針」に基づき、リスクに対する更なる組織体制の強化に努める。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
			1・目標を達成	指標(単位)	発生した各リスクへの対応率【令和元年度：運用】（％）					
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
			・入札及び随意契約事務において、ガイドライン等に基づいた執行を適正に実施することができた。 ・加須市リスクマネジメント基本方針に基づき、リスクの事前対策を推進するとともに、リスク管理表の更新を行い、リスク予防・対策の見直しを行った。							

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営  
 施策 (4) 公共施設等の適正な配置  
 取組項目群 ① 公共施設等の適正な配置の実現

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
				指標(単位)	統廃合を実施した施設 【令和元年度：1】 (施設)					
131	老朽化対策と統廃合に向けた取組の推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	統廃合を実施した施設 【令和元年度：1】 (施設)					・財政規模や人口（状況）を視野にいれた、公共施設の適正配置の実現をめざす。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	3	1	1	1	1	
				実績	3	3				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 「加須市公共施設等総合管理計画」及び「加須市公共施設等個別施設計画」に基づき、施設の廃止等を実施したことから「目標を達成」とした。 ・三俣防災倉庫の廃止 ・医療診断センターの廃止 ・旧農業振興センターの廃止・解体 *不老荘：令和3年度中に廃止										
132	業務委託の推進【再掲(-124)】	1・目標を達成	-	指標(単位)	新たに委託する（指定管理者制度の導入含む。）業務の数 【令和元年度：2】 (件)					・組織や予算のヒアリング時において、施設の管理・運営を主体とした業務について、指定管理者制度の導入とともに委託の検討をさらに進める。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
				実績	1	1				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・R5.3.31をもって指定管理期間が終了する大和根総合福祉会館について、指定管理制度継続の適否について検証した結果、温浴施設の休止に伴い、指定管理を解除し、市直営施設となった。しかしながら、使用を継続する同施設内の貸出施設については、予約に係る受付業務を委託することとした。 ・上記のようなことから、目標としていた新たな委託等の業務数について、達成することができたため本評価とした。										
133	資産の有効活用等【再掲(-90)】	2・概ね達成	-	指標(単位)	未利用市有地（普通財産・土地）の売払い又は利活用決定件数 【令和元年度：2】 (件)					・市有財産管理運用委員会を開催し、未利用財産の区分けを行い、利活用を行う。 ・財産の取得・処分検討委員会を開催し、未利用市有地の公売に向けて諮問を行う。 ・旧騎西コミュニティセンター利活用庁内検討委員会を開催する。
				年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	2	2	2	2	2	
				実績	8	4				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・随意契約による普通財産（本町警察官住宅跡地、騎西地区保有地No.1、備前堀土地改良区貸付地、鴻葦幼稚園脇用地）の売却。 ・4件の普通財産の売却が実施できており、おおむね達成できたものであるが、新たな未利用市有地もあるため。										

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (5) 広域行政の推進

取組項目群 ① 広域的な取組の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善 点・今後の取組内容等	
				指標(単位)	広域行政連携を目的に参画している協議会等の数 【令和元年度：3】					
134	公共施設の相互利 用の推進	1・ 目 標 を 達 成	-	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会の構成市町や、協定を締結している久喜市と共に各種連携事業を推進していく。</li> </ul>
				目標	3	3	3	3	3	
				実績	3	3				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会への参画や、久喜市との協定締結により、公共施設の相互利用等の連携事業等を実施することができたため、目標を達成とした。						